

## デンチャーワールド ～患者の QOL 向上を目指し、素材とテクニックを駆使した義歯～

日技認定講師 戸田 篤

高齢化が進み、義歯の重要性は増している半面、義歯に対するイメージは良い状況と言えるでしょうか。更に、義歯に悪いイメージを抱いているのは患者さんだけとは言えません。日本の歯科技工士の約9割が保険の枠で義歯を作っており、対価についても苦しい経営を強いられているように見受けられます。保険で良い物が作れないとは言いませんが、材料や時間の問題を考えると限界があります。最良を考え適正な材料を選び、手間をかければ、もっと様々な質の向上した義歯を製作できるはずです。義歯に対するイメージが良くないのは、良い義歯があるにも関わらず、それを術者、患者双方が知らないことが大きな要因ではないでしょうか。

私は故河邊清治先生の歯科医院に務めていた頃から、現在に至るまで、患者さんの QOL 向上を目指したより良い義歯製作をするために保険の枠にとらわれずに取り組んできました。素材とテクニックを駆使した義歯を紹介したいと思います。修理加工のできる PMMA による「弾性レジンクラスプデンチャー」や目的に応じたレイヤーデンチャー（積層義歯）の中から「CP デンチャー®」、「カラーレイヤーデンチャー」、「シリコンレイヤーデンチャー」など。その他パーシャルデンチャーに必要な維持装置やフレーム設計など河邊分類法から負担域を考えた設計などを視覚的に分かりやすいように写真からシンプルに解説したい。